

---

# World of Fantasy 改訂版

K\_Sayuto

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

World of Fantasy 改訂版

### 【NZコード】

N7775Y

### 【作者名】

K\_Sayuto

### 【あらすじ】

謎の大量失踪事件

その背景にあるものとは？

地球と異世界、敵と味方、疑いと信頼。 それぞれの思いを載せたFantasyが動き出す。

## プロローグ

### —友人の失踪—

それまではただそれだけの事件であった。

### —さらなる失踪—

そこで、何か集団的な組織が動いているのでは?と言つ噂が流れ るようになつた。

### —共通点—

失踪した人たちの共通点が見つかった。だがそれはとても信じ難い事だった。皆があるオンラインゲームやつていた、ただそれだけの事だった。

### 「なあなあ、あの噂聞いたかかみにやん」

下校途中と思しき一人の制服に身を包んだ男が歩いていて片方が先に口を開いた。

### 「えー、しらなーい」

### 「ほらあの失踪事件だよ」

「あー、あれかあ。あれがどうしたのさ?」

「俺たちもやつて見ない?」

「いいんじやない

「おっしゃ、じやあ帰つたらすぐスカ プ繫いでくれよな

そしてソラ路で別れた。

## 登場人物

ショウ・伊志井 将

今作の主人公、高校一年生。玲奈の事が好きだが告白などした事はない。オカルトや魔術が好きだったので魔法関連のジョブについてする。

かみにゃん・桂峰 神紅

ショウの親友、同じく高校一年生。剣術には心得があったので「V」があまり関係のないW.O.F内では相当な強さをほこる。

ティア・桜ヶ丘 知

いわゆるネカマだったのだが、W.O.Fの世界に入ってしまい、使っていた口リキキャラになってしまった。

ユーキ・佐藤 勇季

ショウの友達、同じく高校一年生。

レーナ・阿久津 玲奈

ショウの友達、同じく高校一年生。実はレーナもショウの事を思つていたり。

## 第一話 パーティー結成

その時はまだ信じられなかつた。LVが5に達した時に俺が持つていたはずのマウスは杖に変わり制服はローブに変わりPCの画面に広がつていた世界は今自分の周りに広がつている。

「は？」

第一声はそれであつた。

「やれやれ本当にこんな事になるなんてなあ」

容姿は確かに変わつていたが頭の上に表示されたキャラネームは『かみにゃん』だつた。

「かみ・・・にゃん？」

「あつ、シヨウ」

と不意に後ろから誰かの叫び声が聞こえた。

「な、なんじゃこりゃー」

その声は幼げなソプラノボイスだつた。声の主を見ると先ほど出会つて一緒にいた幼じ、げふんげふん、小さな女の子がいた。

「ティアさん？」

暫くその女の子は放心していた。しかし、突然はつと意識が戻つ

たよつで急にこんな事を言い始めた。

「ほんなん幼女じゃハーレムなんて作れねえよー」

セイで俺は気がついた。

「あのーティアさんはもしかして中身男ですか?」

「えつ、いやそんな事ありませんよ。お、わ、私は中の人も女ですか?」

「今俺つてこいつとしたよなんかみにゃん?」

俺が問いかけると。

「ちうだなあーショウ」

セイでティアは認めたのか。

「あーちうだよネカマだよ今じや男の娘だよ悪かったかー

「まあ、いいんじゃないのか?」

とかみにゃんが言つて俺も肯定しておいた。

「ち、ちうだ今なら女のアレが好き放題触れるじゃんか

そういうヒーティアは胸に手を当てるがそこは断崖絶壁が広がっていた。

「そ、そんな。うそだあー」

「とりあえず、ティアとかみにゃん一皿につかないといこひに行こひ

「んー、僕も賛成」

ティアはまた放心していた。俺たちは急いで一皿につかないこところへ逃げ込んだそこは小さな洞窟だつた。

「ん、あの奥にいる人誰だろ?」

かみにゃんが気がつき俺も気がついた。とりあえずティアはそらへんにおいておいた。

少しづつ近付いて行くと、その人の頭の上にあるキャラクネームが見えた。

「『ゴーキ』ってまさかあのゴーキ?」

そこまで俺が言つたといひで、後ろから誰かの声が聞こえた。

「ああ、追い詰めたわよさあそつそと降参しなさい」

と女の人に入つてくるがこつちを見て驚愕きよくがくした。

「え、ショウとかみにゃんつてまさか?」

「だ、誰だッ!」

俺が叫ぶと、その人は答えた。

「私だよ阿久津 玲奈だよ」

「れつ、玲奈さんー？」

俺が驚きの声を上げるとコーラキが目を覚ました。

「いてて、わざい取り逃がした。ん、ここいつらは？」

「お前見て気がつかないかなあ？」

「ああ、お前らもか。悪いけど肩かしてくれないかショウ」

「ああ、お前やっぱ秋季か？」

「そーだ、そーだ、クリームソーダ」

・・・・・、多分今ので体感温度5度くらい下がったかな？

「そう言えば、そのティアってひとほどなた？」

そう聞いた時、ティアは焦っていた。しじみがない、助け舟を出してやるか。

「えっとな、こいつは先ほど出合った女の子だ。どうやら何かの事故で記憶を失つたらしいんだ。だから今はなんもわからないからレーナさんから教えてやつてくれないかなあ？」

俺がそう言つとティアは小声で

「何でそんな設定なんだよ」

「そっちの方がいいだろ、過去とかいろいろ詮索されずに済むし第一、お前は元男なんだから女の子の事を知らないんだからそれを隠すためでもある、後これからは男口調を絶対使うな」

そう言つて俺たちがコンコン話していたのを見たレーナさんは口を開いた。

「なーに、コンコンやってんだかまあいいけど。とにかく、一応聞いておくけど、これから私たち仲間になるのよね?」

「まあ、そりや一緒にの方が安全だろ?しねえー」

今まで黙つていたかみにやんが話す。

「でも、幸いな事にこの世界は「<sup>レーナー</sup>」はあまり関係ないから装備と個々の能力、それにジョブとコンビネーションをえしつかりしてれば何とかなる。っと、もう大丈夫だ一人で立てる」

「えーと、とりあえずみんなのジョブをまずは聞いておかなくちやだね。私は魔銃士スペルガンナーでゴーキは魔法戦士マジックナイターだよシヨウ達は?」

「俺は、とりあえずは治療師ヒーラーでかみにやんはサムライでティアは・・・なに?」

「えつと、お、私は・・・何だら?」

「ポケットに携帯入つてない?」この世界ではじりやり携帯がウインドウの代わりになつてゐるから

「あつ、ほんとだ」

ティアがポケットから出した手に握られていたのはスマートフォンだった、いわゆるスマホだね。

「ええと、さり………それ………し、  
ミストスラッシュ  
霧裂師だ！」

」！！！」

「嘘だろ、霧裂師つてスーパー・アジョブで100億人に1人出るかどうかってジョブだろ」

「やうの言えばユーリーとレーナーをさせ」の世界に詳しいみたいだけ  
ええりして？」

「ああ、それはだな」

「いい、私から話す。この世界はモードとほぼ同じ世界、といつかほとんどの事が全く一緒なんだけど少し違う世界なの」

なるほど、それでわざわまでいろこの知つてゐるよひな口ぶりだつたのか。

「じゃあ、俺たちが持ってる知識でもある程度はもう通用するつて訳か

「そりそり、それで……。続々は宿屋でしましょ」

そういうレーナさんが言つた後に当たりを見渡すとティアとかみにや

んは寝ていた、しかもかみにせんせ立ちながら。

「それもそうだな、ティアはレーナさんが頼む、ショウはかみにせんせたのむ」

やう言つてユーリは立ち上がり歩いて行った。俺たちもその後を追いかける。

## World of Fantasyとは？

とあるオンラインゲームの名前で今回の冒険の舞台。略称は『WF』

システムは一般的なレバ性だがレバが上がつてもステータスは対して変化はない、レバが上がれば新たに技を習得するぐらいである。

だからレバでもテクニックさえあればレバ10にも50にも勝てると言つ事である、あくまでスキル使用禁止での話だが。

主にステータスはジョブによつて何かが高くなり何かが低くなるものである。それ以外のステータスの変動は装備品か強化魔法、または何らかの加護以外では基本的にあり得ない。

ジョブは数が豊富でざつと200を超える、そのうち大体20位がスーパー・レアジョブ、つまりユニークジョブである、霧裂師もこの中にはいる。

とまあ、この辺りまで後は基本的なオンラインゲームと同じである。

## 種族

ヒューマン  
人間 属性：大地

全てのステータスにおいてバランスの良い種族、基本的にどんな装備でも上手く使える。

ケット・シー  
猫人 属性：星

猫本来の身軽さにより俊敏力、回避力がはずば抜けて高く攻撃力もある程度あるが防御は低い。主にクローやなどの武器を使う。

ファンクラー  
犬人 属性：炎

攻撃力、俊敏力に長けていてヒットアンドアウェイの戦法が得意。犬の種類によつて特性が変わつてるので場合によつては連携が得意になる組み合わせなどがある。

ヴァンパイア  
狼人 属性：風、月

攻撃力、回避力、連携がとても高く速攻撃タイプ。連携がとても得意で知能も高い。

グリジフィックス  
熊人 属性：大地

攻撃力、筋力、防御に優れていて、パーティの主力となる存在。

ドワーフ  
怪力人 属性：炎

その体からは想像できないほどの怪力を持つていて、指先も器用なので生産などもお手の物。

妖精 エルフ 属性：風、水

人魚の様に魔法、弓に長けている種族。あまり数は多くない。

人魚（マー・メイド・ト・マー・マン） 属性：水

女の場合はマー・メイド、男の場合はマー・マン。魔法や弓の扱いに特化して。普通は人間の姿だが、水に触れる事により人魚の姿へと変わる。

翼人 ハーピィ 属性：風、天空

野獣化が使用可能な種族で使うと背中から羽が生えるが生える時の痛みは相当な物であまりやりたがる人はいない。

聖人 セイント 属性：聖、太陽

賢人に劣るが相当な知識と頭の回転力を持ち近接も可能な魔法戦士つぽい種族。

賢人 マー・ブライブ・ラリイ 属性：無

戦闘においては役立たずだがその頭の知識、回転力は群を抜いてるので、策士などの役目を与えると真価を發揮する。

竜人 ドラゴニカ 属性：炎、天空

熊人の全てを上回る大変希少な種族。どんな戦いでも勝利へと導く勝利の女神の加護がある。

天使 エンジェル 属性：聖、風

悪魔 デーモン 属性：闇、炎  
悪魔と対をなす種族。魔法においては攻撃系よりもサポートに特化しており近接でも十分戦える。

天使と対をなす種族。魔法においては攻撃系に特化しており。禍の象徴として恐れられている。

神人 アポストロファイ 属性：神

神以外で神に果てしなく近い種族。現在もその種族の末裔まつえいがいるかどうかは不明。

幼女 ロリ 属性：ボクツ娘

大つきいお友達に人気な・・・「冗談です、すみませんwww

どの種族も見た目は人間となんの変哲へんてつもないが妖精や猫族などは少し小柄こがらなほうで、竜人や熊人は大柄おおがらな方であると言う事だけ。動物系の種族は野獣化フランクショーウェイク、竜人は半竜化ドラゴニクス、神人は半神化アポストロファイアードなどを使う事により本来の姿へとなり種族の特殊能力のアップやステータスの飛躍的向上などが起きる。

野獣化を使用できる種族は興奮状態に陥ると半獣化状態になり、猫

の場合人間×猫耳×猫尻尾状態になりその種族の特性が目立つようになる。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7775y/>

World of Fantasy 改訂版

2011年11月26日19時52分発行